

県民が

になった

笑顔 プロジェクト

健康福祉部

平成 29 年(2017 年) 7 月 21 日
 健康福祉部 健康福祉政策課
 (課長)清水剛一 (担当)高池武史
 電話:026-235-7091
 FAX:026-235-7485
 E-mail:kenko-fukushi@pref.nagano.lg.jp

障がいのある方がスポーツを楽しむ機会を拡大

(サンアップル)
 年間を通じて各地で開催するスポーツ大会や、県障がい者福祉センター
 を活用したスポーツ教室などを通じて、障がいがあっても、積極的に
 スポーツを頑張る皆さんを応援



県内各地で開催される障がい者スポーツ大会には、毎年選手と関係者約 7,000 人に参加いただいています



長野車いすマラソンは 高校生やシニアのボランティアをはじめ多くの皆様に支えられて今年の大会で 13 回目となりました



サンアップルの各種スポーツ教室には、毎年延べ 20,000 人以上の方が参加されています



今年から新たに地域の一般スポーツ団体との調整役を配置し、地域の身近な場所でスポーツに親しむことのできる環境整備をさらに進めていきます

子どもや高齢者を対象とした動物とのふれあい活動を推進

(ハローアニマル)

動物愛護センターでは、動物とのふれあいを通じて、子どもたちに「いのち」を大切にする心や思いやりの気持ちを養う活動を展開中 また、高齢者施設への訪問により入所者の心の癒しや身体機能回復などもお手伝い



平成 28 年度は約 5,400 人の子どもたちと約 3,200 人の高齢者に、動物とのふれあい等を体験していただきました



ハローアニマルでは子どもたちからの感謝のお手紙を数多くいただいています



現在、不登校の子どもたちに動物の世話や職員の手伝い等を体験してもらいながら、社会への橋渡しを支援する活動も実施中
ハローアニマルではこうした取組を今後さらに強化・拡大していきます

全国 47 都道府県中 犬の殺処分率が最も低いことに対し 知事からサンクスカードをいただきました (H28)

人生二毛作社会づくりでシニアの活躍を後押し

すべての高齢者に居場所と出番がある人生二毛作社会づくりを、県長寿社会開発センターとともに推進中 意欲あるシニアが知識や経験を活かせる活躍の場が各地に広まり、地域の担い手として活躍



アイデアワークで子どもたちを笑顔に！



お菜取りツアーを受け入れてます 89歳！



ここにゼッケンをつけて
長野マラソンを熱く応援



善光寺ボランティアガイドで活躍！



サバイバルメシタキ、略してサバメシを
子どもたちへ伝授



バルーンアートに挑戦



人生 100 年時代において、自分らしく、多様なステージを作り出してもらうため、同センターでは各地で活躍するシニアの皆さんの実践事例集を発行しました

言語としての手話を県民へ普及

平成 28 年 3 月の長野県手話言語条例制定を契機とし、手話が言語であることを県民に理解していただき、手話がコミュニケーション手段の一つとして広く普及するよう、様々な取組を展開中



信州山の日に手話で交流を図りながら登山



手話応援団を結成してプロバスケットボールチームを手話で応援

こうした取組を進めることで、障がいのある人もない人も共に生きる社会の実現を目指していきます